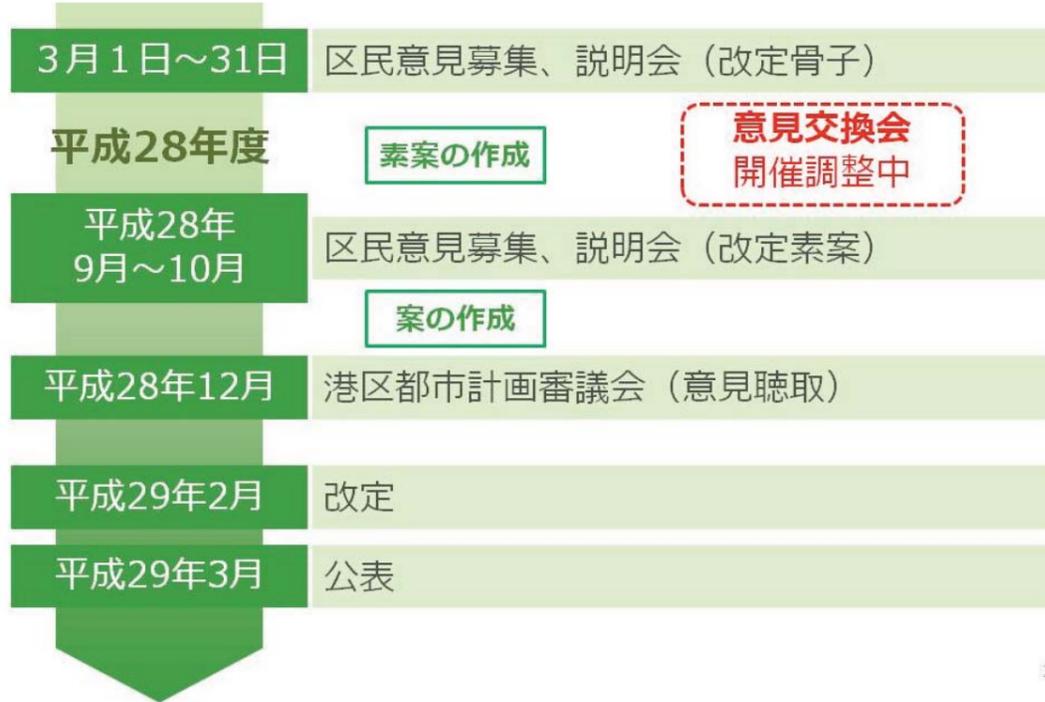


◆◆まちづくりマスタープランの今後の改定スケジュール◆◆

「港区まちづくりマスタープラン」の今後の改定スケジュールは、以下の流れとなります。  
 平成28年度の意見交換会については、平成28年度前半（5月～6月予定）での開催を調整しています。4～5月に詳細をお知らせする予定です。みなさまお誘い合わせの上、ご参加の程どうぞよろしくお願い致します。



◆◆平成27年度開催の意見交換会（台場地区）の様子◆◆



まちづくりマスタープランや意見交換会について感想やご意見などお寄せください！  
 また、意見交換会への参加者を引き続き募集していますので、ご希望の方はご連絡下さい。  
 港区 街づくり支援部 都市計画課 街づくり計画担当  
 TEL 03 (3578) 2235、FAX 03 (3578) 2239  
 〒105-8511 東京都港区芝公園 1-5-25（港区役所本庁舎 6階）

港区まちづくりマスタープラン  
意見交換会ニュース

台場地区  
平成27年度  
総括号  
2016.3

港区まちづくりマスタープラン（改定骨子）  
を取りまとめました

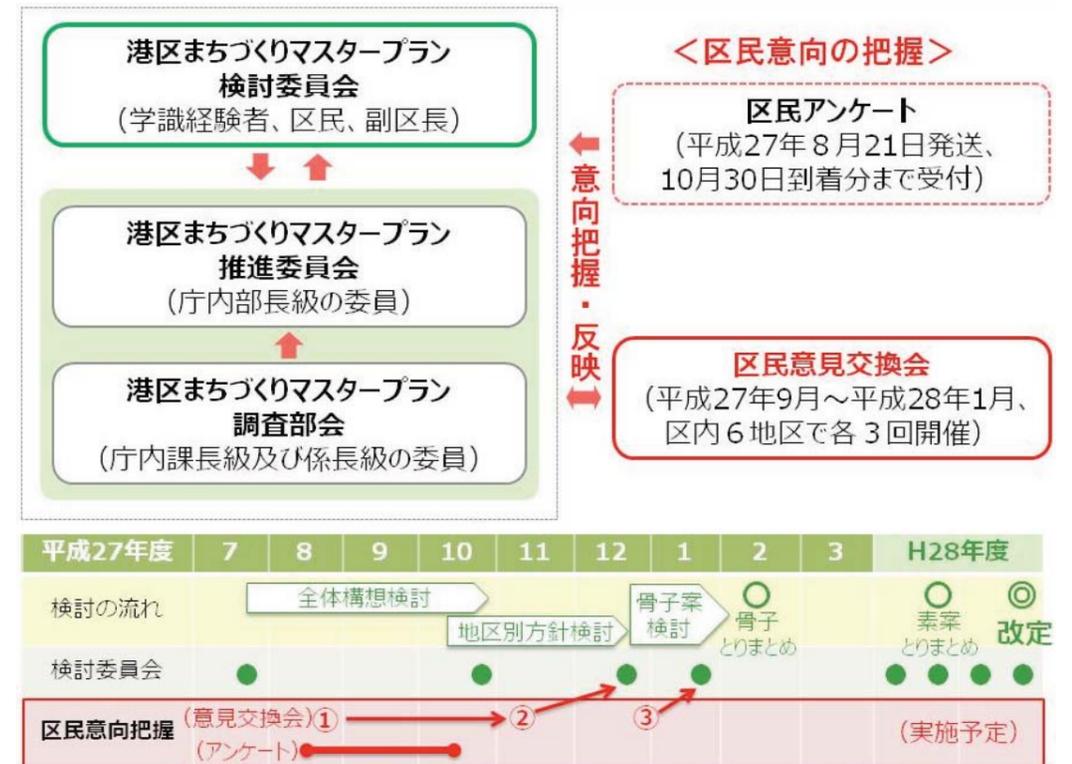
平成27年度に全3回開催した「港区まちづくりマスタープラン意見交換会（台場地区）」にご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

港区では、「港区まちづくりマスタープラン」の改定にあたり、区民参画のもと、専門的かつ幅広い意見を反映させるため、学識経験者や公募区民等が委員となる検討委員会や、幅広い分野の視点から、まちづくりの方向性を全庁的に検討する推進委員会等を立ち上げ、「港区まちづくりマスタープラン（改定骨子）」を検討してきました。

また、委員会等での検討と並行して、無作為抽出による区民3,600人を対象とした区民アンケートの実施や、皆さまにご参加頂いた区民意見交換会を開催し、きめ細かな区民意向を把握しました。

本ニュース総括号では、全3回の意見交換会にていただいたご意見を「港区まちづくりマスタープラン（改定骨子）」にどのように反映したかをまとめています。裏面の見開きページをご覧ください。

◆◆これまでの検討経緯◆◆



# 台場地区で出されたご意見を整理しました

※反映したご意見・参考としたご意見の分類は、「改定骨子」の段階のもので、今後、素案を作成するにあたり、具体的な記載を検討する中で、出来る限りご意見を反映していく予定です。

## まちの将来像について

以下のご意見は、主に平成 27 年 11 月 17 日（火）に実施した第 2 回意見交換会で出された「港区は今後どのようなまちになっていくといいか」に関するご意見です。港区まちづくりマスタープラン改定骨子を検討する上で、「将来都市像及び目指すべきまちの姿」の参考としました。

### 住みつづけられるまち

- ・圧倒的な利便性を生かしたまち
- ・気軽に交流できる居場所があるまち
- ・世代間交流でつながれるまち

### 個性的で多様な魅力があるまち

- ・観光のまち
- ・誰かに自慢できるまち
- ・一体感のあるまち（今の台場はあまり区内の他地域と繋がっていない、心理的な距離感がある。）
- ・多様な人材を生かすまち
- ・豊かな文化資源をみんなで共有できるまち
- ・古いものと新しいもの、両方を尊重するまち（相互理解、共存）

### 世界に開かれた国際的なまち

- ・誰もが交流し、理解し合えるまち（様々な交流・多様性・相互理解）
- ・国際交流と向き合うまち

## 台場地区のまちづくりの方針について

### 土地利用・活用

#### 《考え方を参考としたご意見》

- ・お台場は、新しく出来たまちなので、イワリはしっかりしているが、いずれお台場も、建物の老朽化問題などがでてくる。そうすると、まちの魅力や価値が下がってしまう。

### 道路・交通

#### 《考え方を参考としたご意見》

- ・台場地区に無い施設に行くための交通手段をもっと充実させて欲しい。（レインボーバス）
- ・せっかくできたレインボーバスをもっと上手に利用したい。
- ・レインボーバスができたことで、高齢者の行動範囲が広がった。
- ・バスがないと、品川や田町には行かなくなる。
- ・最近ではバスやゆりかもめよりもカーシェアを利用している。とても便利である。（水上交通）
- ・観光には使えるかもしれないが、日常の足には使えないと思う。
- ・災害時に利用することも難しいのではないかと。

### 住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯

#### 《趣旨を反映したご意見》

- ・集える場所があるまちになってほしい。
- ・観光客が多く、「みなと外 コルル」が守られていない。
- ・道路や歩道は広くて良いが、夜になると人気が無くなり、暗くて危険な場所がある。

#### 《考え方を参考としたご意見》

- （地域コミュニティ）
- ・行政と区民があたたかく交流・相談しやすくなるまちになってほしい。
- ・区の施設は様々な制約や規制があり、気軽に使うことができない。もっと気軽な交流の場がほしい。
- ・区民が主体でイベントを開催するときに、気軽にお知らせや情報発信が出来る場がほしい。
- ・地域の情報交換の場が少ない。
- ・台場地区は、いきいきプラザが無い。区民センターにお世話になっているが、より充実した公共施設整備を望む。
- ・マンション住民の入れ替わりが多く、横のつながりが生まれにくい。（防犯）
- ・道路が広いと、夜中には走り屋が車を暴走させていたり、路上駐車が多かったりしている。対策が必要である。

### 緑・水

#### 《趣旨を反映したご意見》

- ・地域の特徴を最大限に活かして、海辺の環境の改善をしてほしい。
- ・地元の子ども達が海で遊べるように、泳げる海にしてほしい。
- ・子供をプレーパークのような場でグイグイ遊ばせたい。

#### 《考え方を参考としたご意見》

- ・レインボー公園を、もっと様々な活動ができる場にしたい。
- ・台場公園を、バーベキューなどもっと自由に遊べる公園にしてほしい。

### 景観

#### 《趣旨を反映したご意見》

- ・台場地区は、海があり、空が見えて、景観に開放感がある。
- ・これから新しい景観を形成するよりも、今ある景観を保全していくことが大切である。
- ・都会ならではのビューポイントを残して欲しい。それを目当てに観光客も来る。

#### 《考え方を参考としたご意見》

- ・台場から、東京タワーも東京スカイツリーも見えるが、高層ビルが乱立しているため、徐々に見える場所が少なくなっている。

以下のご意見は、主に平成 27 年 9 月 17 日（木）に実施した第 1 回意見交換会で出された「地区の魅力や課題」、平成 28 年 1 月 8 日（金）に実施した第 3 回意見交換会で出された「今後どのようなまちづくりの取組を行ったらいいか」に関するご意見です。港区まちづくりマスタープラン改定骨子を検討する上で、「テーマ別まちづくりの方針」及び「台場地区のまちづくりの方針」に反映しました。

### 防災

#### 《趣旨を反映したご意見》

- ・お台場は、来街者が多いまちのため、災害時の帰宅困難者が多く出ると思う。その対応が必要である。
- ・りんかい線、ゆりかもめが動かなくなったら、陸の孤島になる。
- ・帰宅困難者を受け入れてくれるオフィスビルや商業ビルは少ない。
- ・観光客や来街者、外国人等に向けた防災情報の発信システムを構築する必要がある。

#### 《考え方を参考としたご意見》

- ・台場は、観光客が多いため、災害時の帰宅困難者対策が必要不可欠である。
- ・レインボー公園で、防災訓練や防災活動のような活動をしたい。
- ・津波による浸水や液状化については、台場は安心である。芝浦港南地区のまちづくりの方向性に記載されているが、台場地域にはそぐわない。それよりも、高い建物が多いので、集合住宅の揺れへの対応など、特有の課題がある。

### 国際化・観光・文化

#### 《趣旨を反映したご意見》

- ・今後は観光にもっと力を入れ、観光PRや観光情報発信の基盤整備が必要である。
- ・お台場は、観光面が強いので、住んでいる人のためのまちづくりだけではダメである。
- ・外国人のニーズに応えられる環境づくりが必要である。
- ・国際化に向けての対応を考えなければいけない。
- ・有名な観光地なのに、案内板が少ない。

#### 《考え方を参考としたご意見》

- （国際都市にふさわしい観光機能）
- ・外国人がまちのことを聞けるステーションがあるといい。
- ・いきいきプラザや児童館のように、「国際交流館」もあっていい。
- ・港区の歴史の英語サインや説明などがあるといい。
- ・日本独自の文化を発信して、体験できて、さらに気軽に交流できる場所があれば、国際コミュニティを作っていける。
- ・芝離宮では英語の音声ガイドがある。まちなかにもあればいい。（例えば、スリッパをかざせば映像や音声アナウンスが流れてくるような仕組みなど）
- ・無料の休憩所などが併設された観光情報ステーションがあると便利である。
- ・観光バスの居場所がなく、観光バス用のターミナルが必要である。（わかりやすい情報発信）
- ・公共交通の情報などが一元化されてほしい。（旅行者・観光客の宿泊）
- ・台場地区のマンションでも民泊が行われており、仕組みを整備すれば、外国人観光客に向けてお台場を発信できる反面、1 部屋に何十人も泊まっている場合もあり、近隣住民が迷惑している。住んでいる人も、観光客も、お互いに気持ちよくお台場を楽しめるような対策が必要である。

## 各個別・関連計画で対応するご意見

以下のご意見については具体的な内容のため、課題や問題点として捉えて担当課へ申し伝え、各個別計画や事業等において参考にしていきます。

### （世代間交流について）

- ・子どもを持つ世代は、子どものつながりでつながる機会がある。高齢者も様々なつながりの場がある。若い世代や子どもを持っていない夫婦世代などは、誰かとつながりたくてもつながる機会がない。
- ・世代間のギャップへの対応が必要であると思う。例えば、若い人はインターネットで情報を取得しており、高齢者は新聞や区報で情報を取得している。このようなギャップを埋めていかないと、世代間交流もできないと思う。全ての人に対応する環境づくりをしてほしい。

### （施設の充実について）

- ・他の地区に比べて、病院が少ない。

### （外国人との向き合い方について）

- ・アジア系の人も多くなった。どう向き合い、どう交流・連携していくか。
- ・文化の違い、マナーの違いをお互いに相互理解していくことが大切である。（周辺区との連携について）
- ・行政区だけでなく、周辺区との連携が必要である。
- ・港区としてのまとまりよりも、臨海エリアでのまとまりという意識が強い。（観光客のマナー整備について）
- ・土日は、観光客が押し寄せるので、無法地帯になっている。
- ・観光客が多い土日にマナー啓発活動をすれば、効果があるのではないかと。
- ・歩道が広いと、歩行者マナー、自転車マナーをしっかりとってほしい。

### （台場地区の方向性について）

- ・台場は子育て世代にとってはとても住みやすいまちである。逆に子育てを終えた世代は、家賃が高いなどの理由で住み続けることが難しいのではないかと。そのため住民の高齢化はしないと思う。
- ・家賃が高いという面では、若い人もなかなか住めないと思う。住んでもらうためには、家賃補助などの支援の仕組みが必要である。
- ・台場の方向性として、住みつづけられるまちを目指すのか、それとも住みたい人が住みたい時に住める新陳代謝のあるまちを目指すのか考えていく必要がある。